

会 議 録 (1)

会議の名称	平成30年度 第4回飯能市立博物館協議会
開催日時	平成31年3月27日 午後2時00分から午後3時40分
開催場所	飯能市立博物館 学習研修室
議長氏名	加藤栄子
出席委員	伊藤誠 加藤栄子 栗原慶子 杉田和美 野村正弘 馬場憲一 平良宣子
欠席委員	岡野民嗣 小槻成克 井上淳治
説明者の職員	なし
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員 職 氏 名	博物館長 尾崎泰弘 主査 引間隆文 主任 長谷川裕子 主事 金澤花陽乃

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過) ・決定事項

議事

- (1) 平成30年度主要な事業報告について
 - ・資料1、参考資料に基づいて説明した。
- (2) 平成31年度主要な事業について
 - ・資料2に基づいて説明した。
- (3) その他

会 議 録 (3)

発言者	発 言 内 容
	午後 2 時 0 0 分 開会
主査	<p>1 開会</p> <p>皆様ご多用のところをご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は、岡野委員、小槻委員、井上委員からご欠席の連絡をいただいておりますが、飯能市立博物館条例第 1 5 条第 2 項に規定されています「委員の 2 分の 1 以上の出席」をいただきましたので、これより平成 3 0 年度第 4 回飯能市立博物館協議会を開会いたします。</p> <p>それでは開会に際しまして会長からご挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p>2 あいさつ</p> <p>みなさまこんにちは。メッツァがグランドオープンし、今、飯能は賑わっていると思います。映画『翔んで埼玉』にも飯能が少し出ていて嬉しかったです。これが飯能だけではなく、埼玉全体の賑わいにも繋がればと思います。今日はどうぞよろしく申し上げます。</p>
主査	<p>ありがとうございました。続きまして当館館長からご挨拶申し上げます。</p>
館長	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。リニューアルオープンしてからもうすぐ一年が経とうとしております。本日はこの一年の活動および来年度の予定を報告したいと思います。どうぞよろしく申し上げます。</p>
主査	<p>これより議事に入ります。議事の進行につきましては、条例第 1 5 条第 1 項の規定により、会長をお願いいたします。</p>
議長	<p>3 協議事項</p> <p>それではしばらくの間、議事の進行を務めさせていただきます。</p> <p>では早速ですが、議事の「(1) 平成 3 0 年度主要な事業報告について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p>
館長	<p>(1) 平成 3 0 年度主要な事業報告について</p> <p>それでは議題「(1) 平成 3 0 年度主要な事業報告について」説明いたします。</p> <p>(資料 1 および参考資料に基づいて説明)</p> <p>特別展「吾野」は、1 日の平均入館者数が約 1 7 1 . 4 人でした。これは開館以来 4 番目に多い人数であり、近年稀にみる数値です。当初、来館者の大半が市内の方と予測していましたが、アンケートの結果を見ると約半数は市外からいらした方でした。地域の要望に応じて開催した、地域のための展</p>

	<p>示ではありましたが、吾野地区の魅力を市内外にアピールする一端となれたのではないかと思います。なお、本展示とのタイアップで企画されたエコツアーは、11月と12月の2回開催する予定でしたが、11月は参加者が集まらなかったため12月のみ開催いたしました。</p> <p>毎年開催している小学3年生社会科見学対応では、「むかしの遊び」の展示を、歴史展示室の飯能今昔コーナーに設けました。これは、リニューアルの際に意識した「更新される常設展示」の最初の展示替えになります。また、関連事業の「石臼・昔のアイロン体験会」は、例年に比して参加人数が少なかったのですが、これは三連休の中日に開催日を設定してしまったことが原因の一端と思われます。</p> <p>ミニ展示「ひなまつり」は、飯能雛飾り展の一環として毎年開催しているものです。館で所蔵しているひな人形は数に限りがあるため、同じ人形を数年ごとに繰り返し展示しています。そのため、年々人形が劣化し始めている状況です。展示と資料保存の兼ね合いを考えていかなければならない時期にきていると言えます。</p> <p>前回の協議会で開催予定として報告しましたトーベ・ヤンソンの手紙展は、本国から展示への許可が下りなかったため、開催を取りやめました。</p> <p>成人式では、市民会館のホワイエに新成人が小学3年生のときに社会科見学で来館した時の写真を展示しました。こちらは来年度以降も継続して行いたいと考えています。</p> <p>リニューアルオープン以降の入館者数についてですが、3月17日(日)に、4万人を突破いたしました。入館者数が4万人を超えるのは、郷土館が開館した平成2年度以来初めてのことです。</p>
議長	<p>今の報告について、何かご意見、ご質問などある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>事業報告の参考資料に掲載されている原稿執筆について質問です。埼玉県文化財保護協会の「埼玉文化財だより」は、どのような方が読んでいるのでしょうか。</p>
館長	<p>文化財保護協会は県内の文化財担当者の会ですので、読者は県や市町村の文化財担当者、埼玉県の文化資源課およびそこに関わる方々といえます。</p>
委員	<p>では「飯能市文化財時報」の読者層はどのような方なのでしょう。</p>
館長	<p>飯能市の生涯学習課で編集しているもので、市民を対象としています。</p>
委員	<p>それは一般の人でも手に取ることはできるのでしょうか。</p>
館長	<p>市役所や博物館、公民館などで手に入れることができます。</p>

委員	この原稿は展示が終わった後に作るものなののでしょうか。広報的なものではないのでしょうか。
館長	報告的な性格が強く、広報的ではありません。
議長	ほかにご質問などはありますか。
委員	特別展タイアップのエコツアーは人数が少なかったとのことですが、この時期は市内の行事がいっぱいなので、それと重なってしまったのが原因なのでしょうか。
館長	エコツアーは休暇村奥武蔵で企画したものなのですが、11月は4～5人程度しか集まらなかったそうです。どちらかというとし外の方に向けたものだったのですが、今回のことで市外へPRする大変さを知りました。
委員	私は東吾野に住んでいますが、特別展を通して知らなかった吾野のことを知ることができました。親戚の家のことも色々なことがわかって、良かったと思っています。
委員	年間の入館者が1万人増えたということで、これはリニューアルオープンの効果も高いとは思いますが、従来と今年度で広報活動において変えた部分はあるのでしょうか。
館長	リニューアルオープンについては従来の方法のほかに、飯能市が契約しているPR タイムスというインターネットメディアへの配信を行いました。その結果、以前から取材してくれていた新聞社のほかに、インターネット系のメディアが1社取材に来ました。ほかには、広報物として今回初めてポストカードを作成しました。これは、チラシでは大きすぎて設置不可能な店舗などに配布することを目的としたものです。それ以外には、特段何かを変えたということはありません。
委員	入館者の内訳は、以前と比較していかがですか。変わったところがありますか。
館長	入館者の内訳については、特に把握しておりません。リニューアルオープン後も、入館者に対するアンケートなどは実施しておりません。ただし特別展に関しては、市内の一地域のみを対象とした局地的な展示であったにも関わらず、アンケート回答者の半数が市外からいらした方でした。このことから考えると、市外からの入館者が全体的に増えているのではないかと思います。また、正直なところ特別展にこれほど人が入るとは思っていませんでした。その意味では、吾野地区へのPRを重点的に行ったことの効果が出ていると言えるかもしれません。

委員	今後も特定の地域の展示を行う可能性はあるのでしょうか。
館長	前々から地域を対象とした展示の開催について話が出ていましたが、今回は要望書が出されたことで実現しました。特別展を見た他の自治連の方から、同じような展示をやってもらいたいという話は聞きました。したがって今後別の地域を対象にした展示を開催する可能性はあります。ただ、吾野の場合は他地域と違って地域の歴史をまとめた本が無いので、今回の展示は待望の物だったと言えます。
委員	ひっきりなしに展示を開催する中で、これだけの事業をやったのは大変だったのではないのでしょうか。事業支援一覧に記載されている「キン・シオタニはんのうさんぽライブ4」とはどのようなものなのでしょうか。当日の様子などを伺えればと思います。
館長	<p>キン・シオタニ氏は、テレビ神奈川で地域の面白さや良さを紹介する番組を持っている方です。この番組はテレビ埼玉などでも放映されていて、飯能では過去3回、さんぽライブを行っています。これまでは小ホールを使っていましたが、今回初めて大ホールで行いました。</p> <p>ライブは、古い写真などを映しながらキン・シオタニ氏と対話する、という形式でした。キン・シオタニ氏にはファンがいて、そのような方々はキン・シオタニ氏のイベントがあればどこへでも行きます。ライブの中で博物館のことを案内したら、終了後にたくさんの方が来館してくれました。その影響か、この日は今年度有数の来館者数を記録した日となりました。</p>
委員	キン・シオタニ氏は女性なのですか。
館長	男性です。飯能の歴史なども詳しいです。地域に興味を持つには良いきっかけになる番組かと思います。
議長	他に何か質疑等はございますか。
	(なしの声あり)
議長	なしと認めます。次に「(2)平成31年度主要な事業について」に進みたいと思います。では事務局から説明をお願いします。
館長	<p>(2)平成31年度主要な事業について</p> <p>それでは「(2)平成31年度主要な事業について」ご説明いたします。</p> <p>(資料2に基づいて説明)</p> <p>収蔵品展は平成30年度の事業ではありますが、「飯能焼の陶工・岸道生の世</p>

	<p>界」展の開催に伴い時期が後ろにずれています。収蔵品展について、担当者からご説明いたします。</p>
主査	<p>今回の収蔵品展は、平成と当館の歩みをたどる展示です。今まで開催した特別展40回分の歩みを振り返りつつ、特別展以降、日の目を見ていない収蔵品の展示を行います。また、平成の飯能を振り返るコーナーも設ける予定です。</p>
議長	<p>今の説明事項について何かご意見・ご質問などはございますか。</p>
委員	<p>駿河台大学野村ゼミナールの実習展示についてですが、来年度はゼミ生がいないため、私の方で企画して行います。したがって、名称から実習という言葉は削除した方が良いのではないのでしょうか。展示は、和服をテーマにする予定です。</p>
議長	<p>普段着から礼装まで展示する、ということですか。</p>
委員	<p>発想としては、「もっと自由に和服を」ということを中心に、「もっと和服を着よう」という展示にしたいと思っています。</p> <p>また、今回の展示では、基本的に展示資料は触れないようにしようと考えています。触れることを禁止することで、普段着の着物も博物館の収蔵品・展示品になったら資料となる、ということを伝えたいです。</p>
議長	<p>ほかに何かある方はいらっしゃいますか。</p>
委員	<p>3月の初旬に、明治大学で博物館国際セミナーが開催されました。これは、同大学の矢島國雄先生による、博物館のアーカイブに関するセミナーです。今回の収蔵品展は、まさにこういう分野に該当するものなのかなと思いました。特別展のポスターを展示されるとのことですが、その展示を実施した時の決裁なども取っておかねばならないと思います。開館30年目の節目の展示でもあるとのことですので、博物館のアーカイブのきっかけとしてほしいです。</p>
館長	<p>飯能市の文書管理規則では、文書の保存年限は永年、10年、5年、3年、1年と定められており、特別展に係る文書は永年にしています。しかし、文書管理規則が整備されたのは最近のことであり、平成1ケタ代の記録はあまりありません。近年のものでしたら、上記規則および館報を作るときにも必要となるので残しています。問題は、調査記録の残し方です。現在は調査の記録を担当者個人が持っている状態ですが、調査記録を残すことは地域史料の保存や、地域情報の蓄積にもつながるので、館として残していかなければならないと考えています。</p>
委員	<p>ぜひそのように取り組んでほしいです。博物館の中には、ミュージアムショップで何が売れたか、という記録までとっているところもあります。今お話に出た</p>

議長	<p>ように、調査記録は大概が個人の机の中に入ってしまったています。そのあたりの課題とどう向き合うか、ということだと思います。</p>
委員	<p>ほかには何かご質問などありますか。</p>
館長	<p>来年度の予定を見ていて気になったのが、展示に関わる講座が特別展以外は設けられていない、ということです。ただ、今年度の報告を見ると出前講座にかなり行かれているようなので、展示に関わる講座をこれ以上増やすのは難しいのかな、と思っています。また、講座の時に目立って入館者が増えているわけではなさそうなので、飯能市では日常の入館者が客層の中心なのかな、とも感じました。</p> <p>それと、ここでメッツァがグランドオープンしたこともありますので、ムーミン効果というものがあれば知りたいです。</p>
議長	<p>特別展以外の展示に関しては比較的軽いものが多いため、通常講座は開いておりません。そのかわり、それぞれの展示に関連したイベントは開催するようにしています。歴史講座では収蔵品展の内容とリンクさせることもあります。</p> <p>メッツァグランドオープンの影響はまだ実感としてはありません。メッツァから当館へ来るには交通の問題もありますし、ムーミンやトーベ・ヤンソンといった言葉がつかえないため、どこに接点を設ければ来てもらえるのか、試行錯誤の状態です。</p>
委員	<p>西武池袋線吾野延伸展についてですが、鉄道の展示はコアな客が多く全国どこへでも出かけていく方が多いため、多少遠方でも鉄道に関連する施設にPRしてみてもいかがでしょうか。</p> <p>他には何かございますか。</p>
館長	<p>飯能市は平成31年3月16日に平和都市宣言したとのことですが、その背景には何があるのでしょうか。なぜ今なののでしょうか。</p>
議長	<p>まず、平和都市宣言をしていない市が県内では飯能市と和光市のみだった、という事情があります。時期に関しては、直接的な理由はわかりませんが、メッツァやムーミンの世界観とも合致するものと聞いています。</p>
委員	<p>原爆写真・ポスター展示と鉄道の展示の時期が被っているようですが、原爆関連の展示を特別展示室で行うとすると、鉄道の展示はどこでやるのでしょうか。</p>
館長	<p>展示ホールです。</p>
委員	<p>原爆写真・ポスター展を行う意図は何ですか。</p>

館長	もともと、飯能の人々が広島・長崎の原爆被害についてあまり知らないことが気になっており、いつかその関連の展示をしたいと考えていました。このたびの平和都市宣言はその良いきっかけになりました。
委員	学校などへPRはするのでしょうか。
館長	学校へ向けての広報活動も行う予定です。
委員	学校の話が出たので質問させていただきますが、学校との連携はどうなっていくのでしょうか。
議長	この件については委員からお話を伺えればと思います。
委員	来年度から副読本が新しくなり、中を見てみると博物館へ行ってみようという内容が増えています。リニューアルして2年目が勝負なので、頑張ってもらいたいです。
委員	<p>行事予定を見ていて、大変そうだなと思いました。リニューアルした初年はいいのですが、2年目から入館者は減り始めます。その対策をどう考えるかが問題になってきます。友の会は現在活動していないと伺いましたが、賛助会員を設けるのはどうでしょうか。職員の現有勢力だけでこれ以上何かをするのは難しいと思いますが、何かをしなければ入館者数は右肩下がりになります。市外への呼びかけをするのも効果的かと思います。</p> <p>また、予算も限られていると思いますので、寄付や基金などを活用してはいかがでしょうか。</p>
館長	寄付の話についてですが、ふるさと納税の使い道の中に、文化スポーツ振興基金というものがあります。来年度の特別展の経費には、それを充当する予定です。
委員	では基金を利用していることを明記してはいかがでしょうか。
館長	<p>検討します。</p> <p>友の会は、今でいう市民学芸員と同じような位置づけでやってきました。今後市民学芸員をどのようにしていくか、というのが現在の現実的な問題だと思います。</p>
委員	収蔵資料の利用について教えてください。利用者として博物館を利用するとき、館によってはハードルが高いと感じることがあります。飯能市立博物館の閲覧のシステムがどうなっているかを知りたいです。

館長	資料利用について、一番利用数が多いのは古文書です。ほかには民具なども見に来られる方がいます。閲覧専用の部屋が無いため、事前にご連絡いただいて部屋の空き状況を見ながら予約してもらい、というのが基本です。資料自体は整理済みのものであればすぐに出納できます。ただし、閲覧希望資料が大量だったり、大型のものであったり、名栗で保管しているものだったりする場合は出納にお時間をいただきますので、やはり事前にご連絡いただいた方が確実です。
委員	目録を事前に閲覧することは可能でしょうか。
館長	刊行されたものであれば館外でも閲覧可能です。研究利用をされる場合は、館内のデータベースの閲覧も可能です。
委員	閲覧許可の決済は館内で行うのでしょうか。館長不在の時などはどうしていますか。
館長	館長不在の時には現場で判断することもあります。
委員	撮影は許可していますか。
館長	商業利用ではなく研究目的ならば、撮影は許可しています。
委員	商業利用目的の場合は不可にしている、ということですか。
館長	純粹に商業利用のため、という事例は今のところありません。どこからが商業利用になるのかも、曖昧な状態です。
委員	学術書であっても、売れば印税が入り商業利用となります。館によっては1コマいくらかお金を取っているところもあります。飯能市立博物館にはそのような規定は無いのでしょうか。
館長	特に定めていません。
委員	以前に林業の本を出したときは、無料で利用させてもらいましたが、利用料について、一般的な価格というものもあるのでしょうか。地域博物館でお金を取っている、というイメージは無いのですが。
委員	一般的には1コマ3,000円、というところが多いと思います。
館長	県内の市町村立博物館でお金を取っているところはあまりないと思います。県立の博物館では徴収しているはずですが。

議長	<p>映像についても同じような問題はありますね。 他には何か質疑やご意見などある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(なしの声あり)</p>
議長	<p>なしと認めます。次に、「(3) その他」について、事務局からは何かありますか。</p>
館長	<p>事務局からは特にございませぬ。</p>
議長	<p>では、以上で本日予定した議事につきましては、全て終了といたします。 進行を事務局へお返しいたします。</p>
主査	<p>4 その他 「4 その他」について事務局からは特にありませんが、何かある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(なしの声あり)</p>
主査	<p>特に無いようですので「4 その他」は以上といたします。</p>
主査	<p>5 閉会 以上で、平成30年度第4回飯能市立博物館協議会を閉会いたします。</p> <p style="text-align: right;">午後3時40分 閉会</p>
<p>議事のでん末、概要を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名します。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">議 長 の 署 名 _____</p>	